

中間損益計算書

(自 平成16年4月 1日
至 平成16年9月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,784,718
売上原価	1,524,342	
売上総利益		260,375
販売費及び一般管理費	182,606	
営業利益		77,768
営業外収益		
受 取 利 息	77	
受 取 配 当 金	5,368	
そ の 他	8,702	14,149
営業外費用		
支 払 利 息	10,348	
そ の 他	7,228	17,577
経常利益		74,341
特別利益		300
特別損失		6,097
税引前中間純利益		68,544
法人税、住民税及び事業税		675
法人税等調整額		1,093
中間純利益		66,775
前期繰越損失		1,037,103
土地再評価差額金取崩高		1,654
中間未処理損失		971,983

取締役及び監査役 (平成16年9月30日現在)

代表取締役社長 森本 孝敏
常務取締役 伊藤 勇 (穂積工場長)
取 締 役 棚橋富士男 (管理部門長 兼 関連会社担当)
取 締 役 高橋 和宏 (営業部門長)
取締役 (非常勤) 田中 英造 (東レ㈱ 常務取締役)
常勤監査役 大野 賢治
監査役 (非常勤) 八木田素行 (東レ㈱ 繊維事業管理室長)

株 主 メ モ

決 算 期 3月31日
定時株主総会 6月下旬
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号 (〒460-8685)
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
TEL 名古屋 (052) 262 1520
同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行株式会社 本支店・出張所
単 元 株 制 度 1単元の株式の数は1,000株
公 告 掲 載 新 聞 中部経済新聞

第93期

中 間 報 告 書

自 平成16年4月 1日
至 平成16年9月30日

GISEN

岐セン株式会社

株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成16年9月30日をもって、第93期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の上半期を終了いたしましたので、この間の概況につきご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国の経済は、堅調な輸出や設備投資を背景に、景気回復基調を強めました。しかし、後半原油価格の上昇等で先行き不透明な環境下で推移しました。

このような経済環境のなかで当社は、前期末に完了した「事業改革」を基礎に更なる事業収益基盤の確立に取り組んでまいりました。

そのなかで、受注面におきましては、営業課と商品開発課の連携のなか、新しい商品開発の提案と採算を重視した営業活動に努めました。当上期においては、東レ(株)と共同で開発してきました婦人衣料のヤング・キャリア層向けに上品な光沢感とナチュラルな表面感を表現する“ソリュートペルラ”（東レ商標）が好評を得ました。

しかし、昨年の暖冬による製品在庫の増加、中国・韓国からの製品輸入の増加もあり、売上の減少に歯止めがかかりませんでした。

生産面におきましては、「事業改革」の成果を受け、更なる生産性の向上、品質の安定、経費の削減に取り組んでまいりました。

また、今期より新事業推進部を設け、木材の突き板染色とポリ乳酸ケナフボードを生産する事業を立ち上げました。木材の突き板染色におきましては32百万円の売上を計上し、計画通り推移いたしました。ポリ乳酸ケナフボード事業におきましては、下期よりの量産に向け試験加工を進めてまいりました。

その結果、当中間期の売上高は前年同期比 9.9%減の1,784百万円、営業利益は 77百万円、経常利益は前年同期比71.7%増の74百万円、中間純利益は66百万円と売上高は減少したものの前年同期比大幅な増益を計上することができました。

なお中間配当につきましては、中間未処理損失があることから、誠に申し訳ないことと存じますが配当を見送らせていただきます。

通期の概況

当下半期におきましては、企業収益の改善で雇用や個人消費に期待がもてるものの、原油価格の高騰による原材料等の原価アップの懸念要因もあり、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような経済環境の下で、当社といたしましては、更なる収益基盤の確立を図るために、「原点に戻り、お客様主義に徹しよう」の合言葉の下、コア事業では、消費者のニーズにあった商品開発、より一層の原価低減と効率的な生産体制を再構築し、収益の改善と業績の安定強化に全力を尽くしてまいります。

あわせて、新規事業の染色木材の拡大とポリ乳酸ケナフボードの本格量産を計画しております。

また、将来の事業戦略を見据え中国の染色工場とアライアンスを検討すべくプロジェクトを立ち上げ、事業環境を見極め積極的に取り組んでいく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役社長 森 本 孝 敏

中間貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	770,822	流動負債	1,608,429
現金及び預金	307,662	支払手形	228,518
受取手形	58,656	買掛金	89,614
売掛金	209,361	短期借入金	215,732
たな卸資産	121,003	1年内返済予定長期借入金	223,304
その他	74,325	未払金	706,853
貸倒引当金	△ 187	未払法人税等	3,575
		賞与引当金	47,455
		設備代支払手形	36,416
		その他	56,959
固定資産	3,739,835		
有形固定資産	3,650,257	固定負債	2,067,652
建物	448,797	長期借入金	440,719
機械及び装置	518,128	繰延税金負債	336
土地	2,565,804	再評価に係る繰延税金負債	906,578
その他	117,527	退職給付引当金	656,927
		役員退職慰労引当金	37,338
無形固定資産	2,309	その他	25,752
		負債合計	3,676,081
投資その他の資産	87,267	(資本の部)	
投資有価証券	73,921	資本金	352,800
その他	43,726	資本剰余金	88,200
貸倒引当金	△ 30,380	資本準備金	88,200
		利益剰余金	△ 971,983
		中間未処理損失	971,983
		土地再評価差額金	1,371,257
		株式等評価差額金	△ 2,044
		自己株式	△ 3,653
		資本合計	834,575
資産合計	4,510,657	負債及び資本合計	4,510,657

(注)1.受取手形割引高 169,202 千円

2.有形固定資産の減価償却累計額 7,833,380 千円